

## 西郷地区 地域づくり懇談会 開催概要

- 1 日時 平成30年7月10日（火）19:00～20:15
- 2 場所 西郷地区公民館
- 3 出席者 地元出席者 28名  
市出席者 4名（深澤市長、安本地域振興局長、  
谷村農林水産部長、遠藤河原町総合支所長）



4 テーマ 地域の宝、三滝溪谷に地域住民の手で再び賑わいを取り戻すために

### 5 概要

（地元）

先週は鳥取でも豪雨に見舞われ、ここ西郷でも避難所が開設されたが、他県のように人的な被害がなかったのは幸いだった。

西郷ではむらづくりの取り組みが大きく動き出している。郷をつくるという大きな取り組みであり、本日のテーマの三滝については、昨年から動き出している。我々でできることは限られているため、もう一歩踏み出すために市の支援をいただきたい。

（市長あいさつ）

今回の懇談会は、より膝詰めで自由闊達に意見交換をするという趣旨で、従来と少し進め方を変えている。

本日は三滝溪の活用ということで、今回のやり方にふさわしいテーマかと考えている。意見やアイデア等をどんどん出してほしい。

先の大雨では鳥取市でも大きな被害となっている。近隣の自治体への支援も含め、対応をしている。災害に強いまちづくりをこれからも進めていく。

この西郷地区の三滝溪について、昔の賑やかな様子を支所長から聞いた。と

てもいい地域資源であると私も常々思っている。これからみなさんのご意見を聞き、鳥取市も一緒になって取り組みたい。

### <三滝溪のDVD視聴>

#### 西郷地区の取り組み

休止中の林間施設の維持管理について、現在、毎週1回施設の清掃や風通しを行っているほか、施設周辺の草刈りを行っている。5月末にようやく施設の水道水が出るようになったが、飲用可能かは検査中。また、経路の林道三滝線は、落石や草木が道にせり出し、通うのが怖いとの声もあがっている。

その他、地元の取り組みとしては高山・三滝クリーンアップ大作戦を毎年実施している。

多くの住民が三滝にかつての賑わいをもう一度復活させたいと立ち上がり、さまざまな取り組みを検討している。

#### (市長)

DVDを拝見したが、私も素晴らしい施設と地域資源だと考えている。施設自体はまだ老朽化していないものの、水や遊歩道の整備、宿泊等は大規模な改修が必要ではないかと思う。ただ、施設を整備すれば多くの人に来てもらえるということでもないと思う。地元の方の熱意も感じているので、この地域資源の生かし方をどうするか一緒に考えていきたい。

#### (地元)

施設はとても素晴らしいのに各所で不具合が出ているため、直してもらいたい。今は週に1回の清掃と風通しを行っている。三滝溪にはお客さんもよく登るが、道が細く、危ないところがある。水道はトイレには使用できるが、飲み水にはまだ適さない。将来的には子どもや孫の代にも、キャンプなどを体験させてあげられるような施設としたいが、今のままでは危ない。

#### (地元)

施設の維持管理は主に14名で行っている。休養施設の景色が素晴らしく、非日常を味わえるとの声も多かった一方で、どの施設でも暗い、かび臭い等の意見があった。

新しい意見やアイデアを募るため、若い方にも声をかけている。また、花を植えたらどうかという声があり、市の支援もあって、実施の目途が立った。

#### (地元)

管理棟等が汚いので床を張り替えたり、天井をスライド式にして星が見えるようにしたりできればいいと考えている。また、遊歩道が閉鎖されている間

は、ドローンを飛ばして滝やつり橋の映像を伝えることができたらと思っている。

(地元)

移住して10年、私は昔の華やかな三滝は知らないが、素晴らしいところだと思っている。しかし、三滝に行くまでの道中がきれいではないため、初めて来る人は不安になるのではと心配している。もう少し目的地までの道を楽しめるようになればいい。お金がかかるのは分かるが、お金をかけないと成果が得られない。

(地元)

私もまもり隊で、約10年ぶりに三滝に行った。施設の外側は日焼けして薄くなっているものの、中はもったいなくらいきれいだった。ただ、掃除が大変で、きれいにできる方法やお客さんに来てもらえる方法を考えたり話し合っている。SNS等を使って人が呼べればと考えている。

(地元)

賑やかな頃の三滝を知っているが、かつてのように戻ればよいと思っている。事故もあったし、マムシやハチが出るなどのリスクもあるが、なんとか排除してお客さんに来てほしい。24時間テレビやビフォーアフターの番組に応募してはどうか。テレビの影響でPRもできると思う。

(市長)

色々なアイデアをいただいた。施設が使われていない状態が続いており、これらを再整備となると大変な投資となる。以前はとても有利な制度や事業が活用できたが、現在は使えない。別の形で考える必要がある。

多くの方に来ていただくためには、ここにしかないものをアピールする必要があると考えている。西郷地区にある三滝や工芸、温泉などの色々な地域資源を組み合わせて、より注目して来てもらえる仕掛けが必要ではないかと感じる。

(農林水産部長)

農林水産部では遊歩道の修繕や施設の改修にかかる費用を見積もる算段をしている。今後この施設をどう使っていくのかによって、その投資を考えていけないといけない。今回の意見を参考にしながら今後協議していく。

先日地域を歩いてみたが、広さが乏しくて少し暗いイメージが強く、滝までの距離があると感じた。途中の遊歩道で少しずつ見るものがあれば楽しめるかもしれない。地域の中での使い方、必要な整備に対して市がどう協力できるか

を、また話していきたい。

（地元）

西郷では民泊も進めている。西郷には宿泊施設がないため、三滝のバンガローや休養施設が活用できればと考えている。

合併前は小学校4年生以上の子どもたちを集め、バンガローに宿泊しての1週間の通学合宿を実施していた。こういうことにも利用してもらえたら、活動が広がると思う。

（地元）

まずは管理棟と保養施設を何とかしたい。保養施設は見晴らしがよく、管理棟では喫茶スペースとしての活用も考えている。ちょうど今シャワークライミングで300名のお客さんが三滝に来ているが、そういった方々にも管理棟や保養施設が使えないかと話している。

（地元）

昔は賑やかで、楽しい時間を過ごしたという思い出を皆さんお持ちだと思う。もう一度みんなで三滝を見直して、活用を図る気運を高めようとしており、ワークショップを実施したところかなりの人数の方が参加した。気運が高まりつつあるこの時期に、市と地元が協力しながら進めていくべき。

予算のこともあると思うので、優先順位を決めながら、少しずつ整備して活用を図っていくことが必要ではないか。特に水の確保が喫緊の課題であり、これを早く解決しなければ他の色々なイベントに使うことができないので、ぜひ強かに推進してほしい。

（地元）

大変経費がかかると思うが、三滝がなくなれば西郷の価値もどんどん下がると思う。我々も頑張るので、市にも頑張ってもらいたい。

（河原町総合支所長）

三滝のつり橋が出来たのが昭和58年で、三滝荘の管理棟が出来たのが昭和60年である。平成元年の河原町報には、5月の連休に約1万5,000人が三滝に来たという記載があった。

三滝は滝がとても素晴らしい。国府の雨滝や大山の大山滝もあるが、三滝の場合は遊歩道を上った先に、急に断崖絶壁の千丈滝が見え、つり橋が見える。そのつり橋まで行ってこそ、三滝の魅力があると思う。落石の危険性もあるが、遊歩道の整備がつり橋まで行く前提ではないかと思う。

市がある程度投資をするということになれば、お客さんがたくさん三滝に来

るアイデアを出し合う必要がある。西郷地区には、工芸の郷構想や湯谷荘の温泉もあるので、そういった所も含めた観光ルートのようなものを作ることも1つのアイデアではないか。

水の問題があったが、去年掘った所をもう一回掘ったら水が出た。検査をしたところ、飲料水としても問題ないとのことだった。補正予算で整備を検討していけばよいかと思う。

(地域振興局長)

6、7年ぐらい前に、国府の大茅地区で雨滝での滝床料理に取り組んだ。豆腐などの地域の食材を生かして、滝の下の広場で50人程度の料理を提供するもので、旅行代理店などからアドバイスをもらいながら、試作・試食を行い、うまくいけば商品化できるのではという話もでた。いよいよやろうという段階でエネルギーが少し足りず、最後の一步ができなかった。

地域でお客さんと企業のつながりを持って商品化できたらうまくいくのではと感じた。特にこの地域は三滝もあるが、湯谷荘もあるしシャワークライミングもやっている。お客さんが来る可能性を秘めており、マンパワーもある所なので、これから一緒になって考えていけると思う。

(地元)

7月29日に三滝も含めた高山にて、西郷のむらづくり協議会と北村のむらづくり実行委員会の共催で周辺整備事業を実施する。毎年実施しており、今年で8回目となる。何とか継続していこうと頑張っているので、今後も市の力をいただきたい。

(地元)

西郷はみんなが一緒になって何でもする。市にお願いするだけではなく、市と一緒にこの西郷を、三滝溪を、そして鳥取市を元気にしようというのがこの懇談会の主旨だと思うので、どうぞ我々をご活用いただきたい。

(市長あいさつ)

熱心にこの会にご参加いただき、心より感謝申し上げます。何でもするという話があったが、我々市職員も何でもやる思いで、皆さんと一緒にまちづくりを進めていこうとしている。人口減少や少子高齢化等、我々は非常に困難な課題に直面しているが、地域の資源を生かしながら将来を切り開こう、何でもやろうという思いがあれば、おのずと道が開けていくのではと思っている。

先ほど話があった滝床料理は、地元の皆さんが大変盛り上がりしており、先進的な取り組みをしている所に視察に行ったり、実際に料理を作ったりして進めていた。色々な課題や問題があったが、地元の皆さんのパワーがあれば様々な

ことが実現していくのではないだろうか。市としても財政は楽ではないが、できるところから整備していくことは可能ではないかと思っている。お話をお聞きしながら、一緒になって取り組んでいきたい。